

上作延のジャッキー



悲しくて、残念なお知らせがあります。
2024年10月4日の早朝、ジャッキーが息を引き取りました。

ジャッキーは今から12年も前、2012年の3月に上作延小学校にやってきました。はじめは、東高根森林公園に迷い込み、来園した人達に親しまれていました。東高根公園は野良猫やカラスもよく出るので、危険だということで、上作延小学校で引き取るようになったそうです。この出来事は当時の地域の新聞にも報じられました。

それから12年間以上の間、ジャッキーは上作延小学校の一員としてすごしてきました。小学6年生が生まれるより前から、ジャッキーは上作延小学校にいたこととなります。

昨年のことになります。ある地域の方が、ジャッキーに会いに来ました。もう高校生になっているお子さんがよく世話をしていたという話を聞かせてくれました。家族の会話にも時々出てきていたようで、「小学校へ行く用事があるならジャッキーの様子を見てきて。」と、お子さんに託されたそうです。小屋掃除の間、小屋前の草むらにいるジャッキーを微笑んで眺めた後、写真を数枚、撮っていきました。今、学校にいるお子さんだけでなく、上作延に関わる多くの方々に愛された鶏でした。

鶏の寿命は通常5年から10年とされています。ジャッキーが上作延小学校に来たときにはもう大人の鶏だったことを考えると、とてもとても長生きしてくれたこととなります。

私たちは、家族や友達をはじめ動物や植物など、たくさんの生き物に囲まれて生きています。多くの命と一緒に生きることで、たくさんの温かさや喜びなどをもらって生きています。でも、生きているということはどこかでお別れしてしまうということです。

その時、あらためて、その「温かさや喜び」がかけがえないものだったと気づくのかもしれません。でも、その命を思い出すことで、ほんのちょっぴり「温かさや喜び」が心に戻ってきます。



ときどき、上作延小学校にいた素敵な鶏・・・ジャッキーの事を思い出してくださいね。